

[illegible]

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数

2025年3月期	8,625,000 株	2024年3月期	8,625,000 株
2025年3月期	519,810 株	2024年3月期	586,760 株
2025年3月期	8,081,726 株	2024年3月期	8,016,128 株

(参考) 個別業績の概要

2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日 ~ 2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	547	1.2	100	9.8	159	69.1	124	76.7
2024年3月期	541	19.5	91	75.5	517	32.0	534	19.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	15.41	—
2024年3月期	66.73	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	12,055	11,821	98.1	1,458.45
2024年3月期	11,917	11,742	98.5	1,460.86

(参考) 自己資本 2025年3月期 11,821百万円 2024年3月期 11,742百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報の注記)	12
(重要な後発事象の注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国の政権交代に伴う政策転換や世界各地での紛争など混沌とした世界情勢が続くものの、国内における雇用・所得環境の改善等により、穏やかな回復基調で推移いたしました。

このような環境のなかで当社グループは、国内外の市場における顧客への取引深耕に積極的に取り組んでまいりましたが、難燃剤事業における収益状況悪化の影響により、売上高、利益共に前期比で減少いたしました。また、収益性が低下した生産設備等について減損損失を特別損失に計上いたしました。その結果、当連結会計年度における業績は、売上高は9,304百万円（前期比△382百万円、3.9%減）、営業損失は342百万円（前連結会計年度は105百万円の営業損失）、経常損失は275百万円（前連結会計年度は10百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は895百万円（前連結会計年度は82百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①ファインケミカル事業

ファインケミカル事業につきましては、電子材料製品や工業薬品及び医薬関連製品の需要は堅調に推移いたしました。電子材料分野は、前期まで市場の低迷が続いておりましたが、当期は半導体分野を中心に回復が見られ、開発品も順調に立ち上がりました。また、医薬分野やヨウ素関連製品を中心とした海外向けの販売の需要も好調に推移いたしました。

その結果、売上高は3,933百万円（前期比+28百万円、0.7%増）、セグメント利益は603百万円（同△12百万円、2.0%減）となりました。

②難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、海外では円安基調が追い風となり一部プラスチック用難燃剤の販売は増加傾向となっているものの、低調に推移する中国内需や米国政府の政策等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、コストダウン活動及び値上げ活動の効果により、収益性の改善が見込まれておりますが、前期から継続している需要減少の影響を受け、売上高及び利益ともに減少いたしました。

その結果、売上高は3,974百万円（前期比△411百万円、9.4%減）、セグメント利益は72百万円（同△277百万円、79.3%減）となりました。

③ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、一部製品の終売により、販売数量が減少したものの、主力の人工透析用薬剤の原料は安定した需要を維持いたしました。

その結果、売上高は1,395百万円（前期比+0百万円、0.1%増）、セグメント利益は54百万円（同△7百万円、12.6%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,452百万円減少し、12,646百万円となりました。これは主に、減損損失計上に伴う有形固定資産の減少、及び現金及び預金が減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて508百万円減少し、2,340百万円となりました。これは主に、原材料仕入等に伴う買掛金が減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて944百万円減少し、10,305百万円となりました。これは主に、利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ519百万円減少し、当連結会計年度末には、2,767百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は108百万円（前年は118百万円の支出）となりました。これは主に、売上債権の回収によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は489百万円（前年は231百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は126百万円（前年は75百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループの2026年3月期の連結業績予想については、米国関税措置等未確定要素を踏まえ、現時点で開示しておりませんが、影響が判明次第速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,286	2,767
受取手形及び売掛金	2,410	2,100
電子記録債権	455	531
商品及び製品	2,487	2,193
仕掛品	449	621
原材料及び貯蔵品	681	726
その他	122	108
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	9,889	9,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	552	501
機械装置及び運搬具（純額）	748	371
土地	636	636
建設仮勘定	185	111
その他（純額）	151	127
有形固定資産合計	2,275	1,748
無形固定資産		
リース資産	161	130
その他	17	13
無形固定資産合計	178	143
投資その他の資産		
投資有価証券	1,465	1,520
繰延税金資産	149	109
その他	140	78
投資その他の資産合計	1,755	1,708
固定資産合計	4,209	3,600
資産合計	14,098	12,646

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,876	1,418
未払法人税等	16	66
賞与引当金	126	136
その他	677	568
流動負債合計	2,697	2,190
固定負債		
繰延税金負債	131	135
その他	20	14
固定負債合計	151	150
負債合計	2,848	2,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	300	300
資本剰余金	3,460	3,453
利益剰余金	7,529	6,513
自己株式	△426	△377
株主資本合計	10,863	9,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	370	403
為替換算調整勘定	15	12
その他の包括利益累計額合計	386	416
純資産合計	11,249	10,305
負債純資産合計	14,098	12,646

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	9,686	9,304
売上原価	7,861	7,831
売上総利益	1,824	1,472
販売費及び一般管理費	1,930	1,814
営業損失(△)	△105	△342
営業外収益		
受取利息及び配当金	42	50
為替差益	8	—
助成金収入	8	14
その他	42	22
営業外収益合計	102	88
営業外費用		
支払利息	1	—
為替差損	—	10
保険解約損	2	9
その他	3	0
営業外費用合計	7	20
経常損失(△)	△10	△275
特別利益		
投資有価証券売却益	135	—
特別利益合計	135	—
特別損失		
固定資産除却損	2	0
投資有価証券売却損	3	0
減損損失	38	516
ゴルフ会員権売却損	—	2
特別損失合計	44	519
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	80	△794
法人税、住民税及び事業税	83	77
法人税等調整額	△86	22
法人税等合計	△2	100
当期純利益又は当期純損失(△)	83	△895
非支配株主に帰属する当期純利益	1	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	82	△895

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益又は当期純損失（△）	83	△895
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	190	32
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	9	△2
その他の包括利益合計	199	30
包括利益	282	△865
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	282	△865
非支配株主に係る包括利益	0	—

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	300	3,459	7,566	△474	10,852
当期変動額					
剰余金の配当			△120		△120
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			82		82
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△6		47	41
連結範囲の変動		6			6
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	0	△37	47	11
当期末残高	300	3,460	7,529	△426	10,863

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	180	0	6	187	11,039
当期変動額					
剰余金の配当					△120
親会社株主に帰属する当期純損失（△）					82
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					41
連結範囲の変動					6
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	190	△0	9	199	199
当期変動額合計	190	△0	9	199	210
当期末残高	370	－	15	386	11,249

当連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	300	3,460	7,529	△426	10,863
当期変動額					
剰余金の配当			△121		△121
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△895		△895
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△6		48	41
連結範囲の変動					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計		△6	△1,016	48	△974
当期末残高	300	3,453	6,513	△377	9,888

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	370	—	15	386	11,249
当期変動額					
剰余金の配当					△121
親会社株主に帰属する当期純損失（△）					△895
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					41
連結範囲の変動					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	32		△2	30	30
当期変動額合計	32		△2	30	△944
当期末残高	403	—	12	416	10,305

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	80	△794
減価償却費	463	480
賞与引当金の増減額（△は減少）	△46	9
受取利息及び受取配当金	△42	△50
支払利息	1	—
投資有価証券売却損益（△は益）	△132	—
有形固定資産除売却損益（△は益）	2	0
減損損失	38	516
助成金収入	△8	△14
売上債権の増減額（△は増加）	374	233
棚卸資産の増減額（△は増加）	△548	77
仕入債務の増減額（△は減少）	△66	△456
その他	△18	69
小計	98	71
利息及び配当金の受取額	42	50
利息の支払額	△1	—
法人税等の支払額	△266	△28
助成金の受取額	8	14
営業活動によるキャッシュ・フロー	△118	108
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△475	△519
有形固定資産の売却による収入	0	29
投資有価証券の取得による支出	△8	△1
投資有価証券の売却による収入	467	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△213	—
その他	△2	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△231	△489
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	34	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5	△5
配当金の支払額	△120	△121
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	15	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75	△126
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△11
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△435	△519
現金及び現金同等物の期首残高	3,721	3,286
現金及び現金同等物の期末残高	3,286	2,767

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、取り扱う製品の種類別に「ファインケミカル事業」「難燃剤事業」「ヘルスサポート事業」の3つに事業を区分し、それぞれが戦略を立案して事業活動を展開しております。これら3つの事業区分とそれらにおける主要製品は以下のとおりです。

ファインケミカル事業……機能性材料及び医薬品とそれらの中間体

難燃剤事業……プラスチック用難燃剤とそれらの関連製品

ヘルスサポート事業……人工透析用原料、抗菌剤原料

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,905	4,386	1,394	9,686	—	9,686
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,905	4,386	1,394	9,686	—	9,686
セグメント利益又は損失(△)	615	350	62	1,027	△1,133	△105
セグメント資産	4,024	3,115	890	8,030	6,068	14,098
その他の項目						
減価償却費	194	128	18	341	122	463
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	127	58	13	199	97	296

当連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,933	3,974	1,395	9,304	—	9,304
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,933	3,974	1,395	9,304	—	9,304
セグメント利益又は損失(△)	603	72	54	729	△1,072	△342
セグメント資産	3,703	2,352	846	6,902	5,743	12,646
その他の項目						
減価償却費	197	140	21	359	121	480
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	82	253	24	360	87	447

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差異の調整及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,027	729
全社費用（注）	△1,133	△1,072
連結財務諸表の営業損失（△）	△105	△342

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	8,030	6,902
全社資産（注）	6,068	5,743
連結財務諸表の資産合計	14,098	12,646

(注) 全社資産は、主に当社での余剰運用資金及び管理部門等に係る資産であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	341	359	122	121	463	480
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	199	360	97	87	296	447

(注) 1. 減価償却費の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等に係るものであります。

2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等に係る設備投資額であります。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	1,399円56銭	1,271円50銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失（△）	10円30銭	△110円77銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前連結会計期間は潜在株式が存在しないため、当連結会計期間は1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

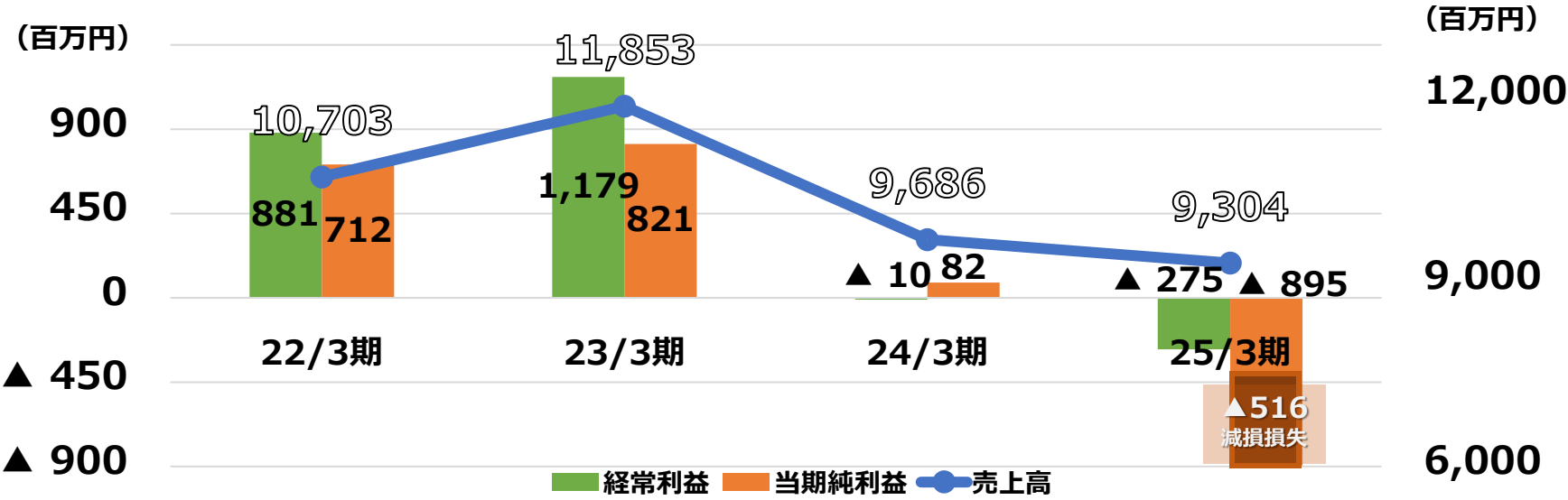
	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）（百万円）	82	△895
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失（△）（百万円）	82	△895
普通株式の期中平均株式数（株）	8,016,128	8,081,726

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前連結会計期間は潜在株式が存在しないため、当連結会計期間は1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

2025年3月期の業績状況（連結）

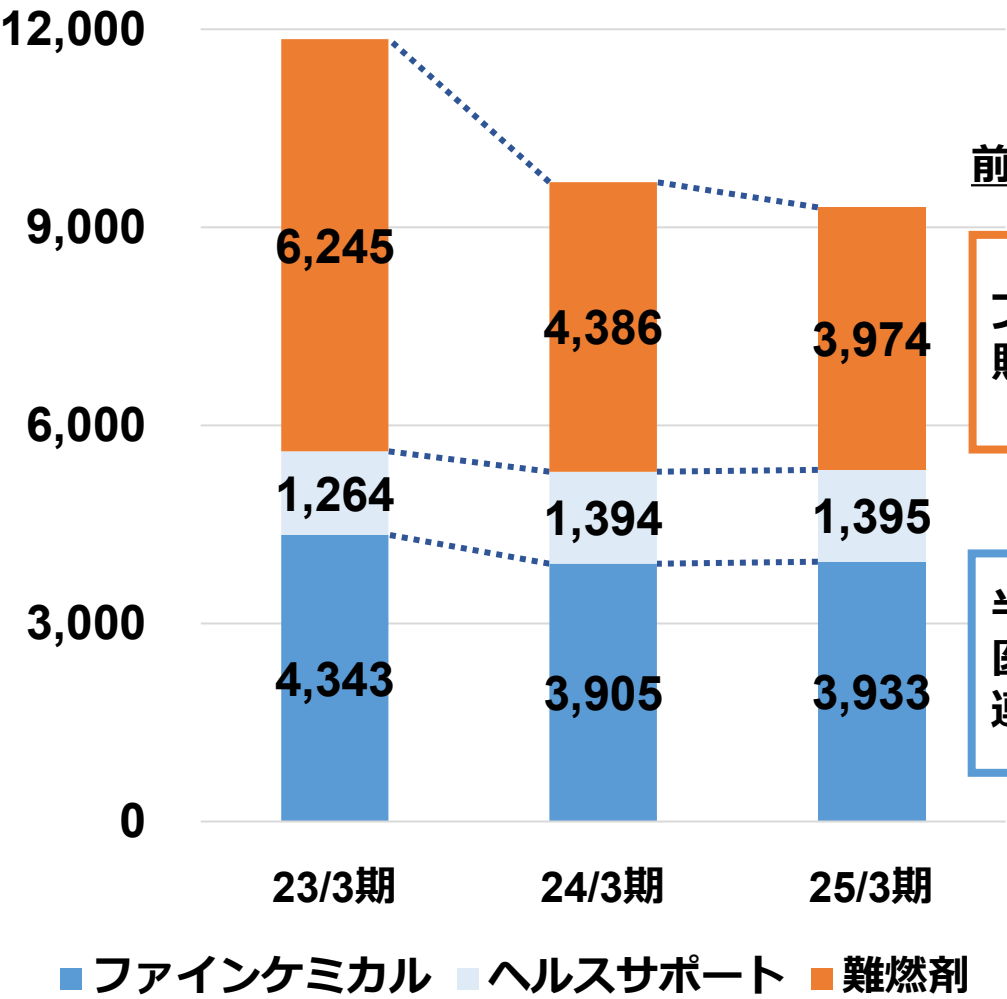


2025年3月期のファインケミカル事業は、**半導体市況の回復と海外向けヨウ素化合物の販売増**により、連結子会社株式譲渡による売上減を補い、売上高は前期比で微増となりました。一方、難燃剤事業は**国内・中国市場の低迷が継続し**、売上高・営業利益ともに前期よりさらに悪化いたしました。加えて、**難燃剤事業の生産設備の回収可能性が低下したため、減損損失を特別損失に計上し、当期純利益は上場以来最低水準**となりました。なお、期末配当は当初計画より▲2.5円の5.0円といたしましたが、長期安定配当方針は維持し、2026年3月期は中間5.0円・期末5.0円の合計10.0円を予定しております。早期の収益回復を最重要課題と位置づけ、**販売価格の見直しや事業ポートフォリオの再構築**を着実に進めております。また、**成長戦略としてファインケミカル事業における半導体関連製品の受託拡大に向けた投資を積極的に推進**してまいります。なお、2026年3月期の連結業績予想については、米国関税措置等未確定要素を踏まえ、現時点で開示しておりませんが、影響が判明次第速やかに公表いたします。

2025年3月期のセグメント別売上高の状況

セグメント別売上高

(百万円)



前期比売上高増減要因：

プラスチック用難燃剤の需要低迷による
販売数量および販売単価の低下 (-)

半導体関連製品の回復 (+)
医薬分野・ヨウ素化合物の海外向け販売 (+)
連結子会社の株式譲渡による売上減少 (-)

2024 年7月31日開示した金属管理技術関連設備取得の進捗報告

投資
分野

ファインケミカル事業

マナック株式会社（MCPsの100%連結子会社）



金属管理技術関連設備を設置する
新事務棟 完成イメージ図

当社事業子会社のマナック株式会社は、金属不純物管理技術向上および**ヨウ素化合物**を中心とした**半導体関連製品の受託開発拡大**するため、福山工場（広島県福山市）における金属管理技術関連設備の取得することを決定しました。

こちらにつきましては、**予定通り進んでおり、2026年度内の稼働開始**を旨指しております。